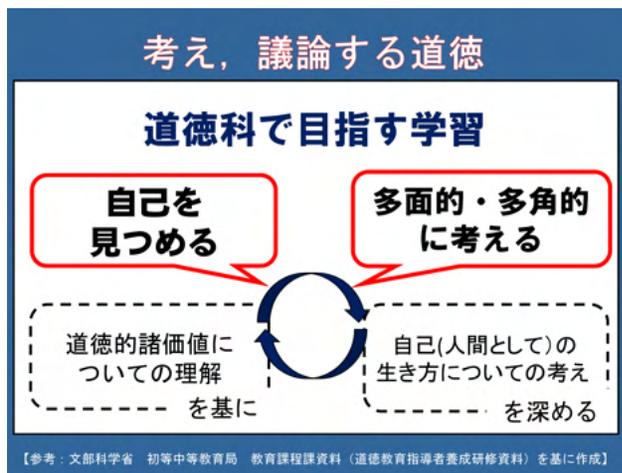


# 令和3年度 鹿児島県心の教育振興会議提言

## 考え、議論する道徳への転換を図る、多様な指導方法の工夫

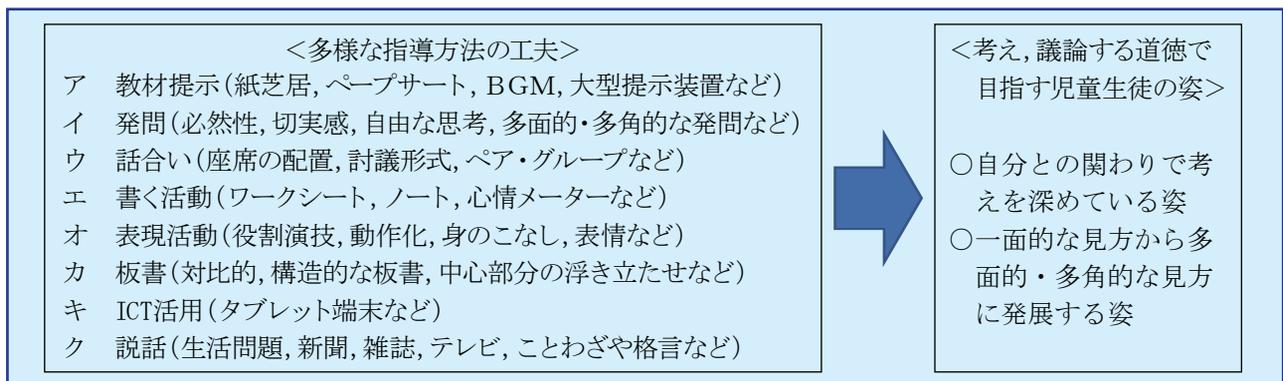
「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」には、道徳科で目指す学習として、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己（中学校では、人間として）の生き方についての考えを深める学習」と具体的に明記されました。そのことにより、児童生徒が、自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりする授業、つまり、考え、議論する道徳への授業改善が求められています（図1）。そこで、平成28年度から、鹿児島県心の教育振興会議では、児童生徒の道徳性を育むために、考え、議論する道徳へ向けた授業改善について提言してきました。しかし、登場人物の心情理解に終始した授業展開や価値観を一方向的に教え込むような授業展開では、考え、議論する道徳は実現できません。児童生徒が道徳的な問題を自分との関わりで考えたり（考える道徳）、多様な感じ方や考え方に会い、多面的・多角的に考えたり（議論する道徳）するように指導方法を工夫することが大切だと考えます（図2）。例えば、自分との関わりで考えを深めるために書く活動を取り入れたり、多面的・多角的に考えるためにペアやグループ等の学習形態を工夫したりすることが考えられます。このような指導方法により、考え、議論する道徳で目指す児童生徒の姿が表出すると考えます。



【図1：道徳科で目指す学習】



【図2：多様な指導方法の工夫】



そこで、令和3年度心の教育振興会議からの提言を、「考え、議論する道徳への転換を図る、多様な指導方法の工夫」とし、多様な指導方法を工夫した授業を収録しました。授業者がどのような指導方法の工夫をし、そのことで、どのような児童生徒の姿が表出しているかに着目しながら視聴してください。

## 〔授業構想〕

1	鹿児島市立松元中学校 第3学年（指導者 柿元 慶子 教諭）
2	主題 自分と異なる立場や考え方の尊重（内容項目 B 相互理解，寛容）
3	教材名「言葉の向こうに」（出典 文部科学省「私たちの道徳 中学校」）
4	ねらい いろいろな見方や考え方があることを理解し，自分と異なる他者の立場や考え方を尊重しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

### 【展開】

過程	主な学習活動と教師の発問	指導方法の工夫
導 入	1 学級のインターネット利用状況を情報共有し，問題点を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなも同じような経験がありますか。</li> <li>・ 今日はどのようなことを考えたいですか。</li> </ul> </div>	(ICT 活用) ・ 大型テレビにアンケート結果を提示し，インターネットを利用する際に困ったことや嫌な思いをしたことを振り返らせることで，生徒一人一人の道徳的な問題意識を高める。
	2 本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           インターネットで交流するときに，大切なことは何だろうか。         </div>	
展 開 前 段	3 「言葉の向こうに」を読み，感じたことや考えたこと，印象に残ったところを発表する。	(書く活動) ・ 印象に残ったところ，気になったところに線を引かせることで，道徳的な問題場面を焦点化する。
	4 やりとりの一場面を演じて，それぞれの立場の気持ちを考える。【人間理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの立場では，どのようなことを感じましたか。</li> <li>・ 誰に対しての思いなのか。</li> </ul> </div>	(表現活動) ・ 加奈子，誹謗中傷した人，閲覧者それぞれの考えや思いに共感できるように，実際に演じさせる。 (書く活動) ・ 演じたときの気持ちを振り返らせる。 (板書) ・ 誰に対する思いかを矢印で示し，関係性が悪化していることを実感させる。
	5 加奈子の取りえる対応とその理由について考え，交流する。【他者理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           もしあなたが加奈子だったら，この状況にいるときにどのような対応をしますか。また，それはなぜですか。         </div>	(書く活動) ・ 選択した理由を記入することで，自分の考えを明確にさせる。 (話し合い) ・ グループで交流することで，多様な考えに出会えるようにする。 (発問) ・ 悪口を言われたのが，家族や親友だったらと考えさせることで，自分の感じ方や考え方をより明確にさせる。
展 開 後 段	6 「私」の発言から，インターネットで交流するときに大切なことは何かを考える。【価値理解・他者理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           加奈子が言った「一番大事なことを忘れていた。」の「一番大事なこと」とは何だろう。         </div>	(ICT 活用) ・ 無音声のやりとりを提示し，ネット上の交流の特徴を踏まえて考えられるようにする。 (書く活動) ・ 交流したことを振り返って考えられるように，書く時間を設定する。
	7 本時の授業を振り返って書く。 (振り返りの内容) ・ 授業で感じたことや考えたこと ・ これからの生活に生かしたいこと	(書く活動) ・ 自己の生き方について，考えを深めさせるために振り返りの内容を提示する。
終 末	8 瀬戸内寂聴氏の言葉を紹介する。	(説話) ・ 引用「理解できないと投げ出す前に，理解しようと相手と同じレベルに立って感じることを心がけましょう。」

## 〔授業構想〕

1	曾於市立大隅中学校 第2学年 (指導者 大迫 克弘 教諭)
2	主題 自主的な判断と責任 (内容項目 A 自主, 自律, 自由と責任)
3	教材名「スイッチ」 (出典 文部科学省 中学校道徳読み物資料集)
4	ねらい 自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, その結果に責任をもとうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

### 【展開】

過程	主な学習活動と教師の発問	指導方法の工夫
導 入	1 アンケートを見て, これまで自分がどのようなプロセスで判断してきたのか振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">結果を見て, 感じたことはありませんか。</div>	(ICT活用・話し合い) ・ 大型テレビに提示されたアンケート結果を見て, 近くの友達と感想を話し合わせることで, 主題に関わる問題意識を高めるようにする。
	2 本時の目標を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">判断するときに必要なことは何だろうか。</div>	
展 開	3 「スイッチ」を読み, 考えたいところに線を引く。	(ICT活用) ・ 朗読テープを使用し, 絵里の気持ちに共感できるようにする。
	4 監督不在の中, キャプテンとなった絵里の気持ちを考える。【人間理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">「いいの。これが城南の練習なんだから」と答えた絵里は, どんな気持ちだっただろう。</div>	(発問) ・ 「負けてしまったらどうなるかな。」と発問することで, 絵里の不安な気持ちに共感できるようにする。
展 開 前 段	5 「自分だったら先生に相談するか」考え, そのプロセスについて議論する。【人間理解・他者理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">みんなだったら相談しますか, しませんか。</div> (プロセス) ① 自分で決めて, 自分で判断する。 ② 自分で決めていて, アドバイスをもらい背中を押してもらおう。 ③ 人のアドバイスを受けて, 参考にして自分で決める。 ④ 自分で決まっていなくて, 人からアドバイスをもらってそれを採用する。	(板書) ・ ネームプレートを貼り, 互いにどのプロセスを選択したか分かるようにする。 (書く活動) ・ 選択した理由を記入することで, 自分の考えを明確にさせる。 (話し合い) ・ 最初同じ考えの人と次に違う考えの人と交流し, 多様な考えに触れさせる。 ・ 選択した色紙をポケットに入れることで, 互いの選択を分かった上で交流できるようにする。 (書く活動) ・ 考えを比べながら交流できるように, 新たな考えはメモするように指示をする。 (板書) ・ ネームプレートを移動させ, 交流前後の考えの変容を自覚できるようにする。
	6 田原先生の言葉から, 判断するときに必要なことは何かを考える。【価値理解・他者理解】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">田原先生が「君たち試されているんだよ」と声をかけたが, 何を試されているのだろうか。</div>	(話し合い) ・ 近くの人と, 「何を試されているのか。」について自由に交流させる。
展 開 後 段	7 本時の授業を振り返って書く。 (振り返りの内容) ・ 自分の心や考えの変化 ・ これまでの自分とこれからの自分	(書く活動) ・ 自己の生き方について, 考えを深めさせるために振り返りの内容を提示する。
終 末	8 教師の体験談を聞く。	(説話) ・ 野球部の監督として, 最善の結果が出るように努めている話をする。

## 生徒の振り返り

インターネット上の人と交流するときには何を大切にしたらよいだろうか。今日の授業を振り返って、考えたことや感じたこと、これからの生活にいかしたいことを書きましょう。

【鹿児島市立松元中学校】

インターネットは、相手の顔が見えないからこそ、相手の気持ちを想像すること  
が大切だと思いました。人はそれぞれ考えや感じ方が違います。その違いをお互  
いが認め合うことも、みんなが気持ちよくインターネットを使用するために大切だ  
と思いました。インターネットには人の心があることを常に覚えて使わなければいけません。

自分の考えだけでなく、相手の気持ちも考えインターネットを使うことが大切だ  
と思いました。相手の意見と自分の意見を比べることが、もしかしたら相手の考えの方が  
正しいものがあるかもしれないことも必要です。相手の立場に立ち、共感する  
ことも大切だということを学びました。

僕はこれから交流する際には、ネットの先には異なる違いを持った人  
がいるということを知り、頭の中に入れて使用したいと思った。  
異なる人の声に耳を傾けることで新しい発見を見つけることが  
でき、自分にとってプラスなことが増えるかもしれないからだ。

顔が見えなくても相手は人だということを大切にすべきだ  
と考えた。人それぞれ意見が違って当たり前だし、自分の  
意見を通したくなるのも分かるけど、相手の意見を聞いて共  
感できる広い心を持ちたい。

今日の学習を通して今までの自分を振り返り、これからの自分に大切なことは何か考えてみよう。（自分の心の変化・友達との関わりで感じたことなど）

【曾於市立大隅中学校】

これまでは、自分が決まっていなかったら、周囲の  
様々な意見を取り入れて決めたい方いいと思っていたけ  
れど、自分で決めて実行してそれが良い方向にはかなくて成長  
につながると思うようになり、自分の意見が変化した。

最初は、「まず自分で判断することが大切」と思っていたけれ  
ど、みんなの意見を聞いて、人に頼ることもすごく必要だし、  
それが成長につながることも分かった。これから進路選択など  
で今日の学習を生かし自分らしい判断をしたい。

今までは、自分一人で判断して来たけれど、これからは、  
進路などにあって他の人にもアドバイスをもらったりしながら  
判断していきたいと思う。そして責任も、持てるようにしていきたい。

今日の学習を通して人に頼ることの大切さや自分で決めることの大切  
さを認識できました。これからは学校生活や部活のときなどに  
今日学んだことを参考にして自分の意見を決めていきたいです。

### 令和3年度鹿児島県心の教育振興会議委員

- |              |                   |              |                  |
|--------------|-------------------|--------------|------------------|
| ○ 假屋園 昭彦 委員  | 鹿児島大学教育学部教授       | ○ 塩 向 哲 哉 委員 | 志布志市教育委員会参事兼指導主事 |
| ○ 田 實 澄 惠 委員 | 県P T A 連合会副会長     | ○ 小 山 薫 委員   | 日置市立伊作小学校教諭      |
| ○ 池 田 俊 彦 委員 | 鹿児島市立西紫原小学校校長     | ○ 東 郷 かおり 委員 | 鹿屋市立吾平小学校教諭      |
| ○ 濱 元 良 太 委員 | 鹿児島市立喜入中学校校長      | ○ 鮫 嶋 宏 治 委員 | 鹿児島市立長田中学校教諭     |
| ○ 有 村 和 章 委員 | 県総合教育センター研究主事     | ○ 柿 元 慶 子 委員 | 鹿児島市立松元中学校教諭     |
| ○ 吉 元 輝 明 委員 | 枕崎市教育委員会主幹兼指導主事   | ○ 中 島 和 美 委員 | 伊佐市立大口中央中学校教諭    |
| ○ 山 口 耕 委員   | 南さつま市教育委員会指導主事    | ○ 大 迫 克 弘 委員 | 曾於市立大隅中学校教諭      |
| ○ 羽 生 一 久 委員 | 始良市教育委員会主任主査兼指導主事 |              |                  |